

山のトイレ協議会通信

第2号



平尾台 オキナグサ

目次

宝満山キャンプセンター周年祭	2 P
意見交換会・福智山山開き	3 P
ふるさとの山県民清掃ハイク	4 P
運営委員会だより	6 P

山のトイレ、環境を考える福岡協議会

山のトイレマナー啓蒙活動

◎宝満山キャンプセンター 周年祭

平成 21 年 3 月 29 日 (日)

昭和 43 年に同センターが開設されて以来、毎年 3 月の最終の日曜日にセンター内でおこなわれている安全祈願の祭事です。今年も午前 11 時から竈門神社の上野権禰宜により 1 年の安全が祈願され、関係者の方々に続き、当協議会も 1 年の無事を祈って玉串を奉奠しました。

当日は寒の戻りで肌寒く、そのため桜の満開時期が長く楽しめることに加え、連休前から始まった高速自動車道の通行料金が一律 1000 円になったことで、遠出した人が多かったことも影響したのか、登山者は例年に比べ幾分少ないように感じました。

祭りの後、直会で、センターを管理している西鉄山友会の方々により三つの大鍋に用意されたおでんが振舞われました。



運営委員長
太田氏
玉串を奉奠



当協議会はキャンペーン活動の一環として、昨年キャンプセンターに建設されたバイオトイレの使用法、注意点などをプリントしたしおりを、登山、トレッキングウエアのメーカー（株）ムッシュから提供いただいたマナー袋に貼り、「入会案内」を同封して、おでんの大鍋の周りに集う登山者に配布しました。

当トイレは供用開始以来、利用者は 5 月 5 日現在ですでに 19000 人を越えたと、後日、管理を委ねられている西鉄山友会の伊藤会長からうかがいました。

これだけ多くの登山者に好評を得ている背景には、山友会の方々の毎日の徹底した維持管理があります。バイオトイレに対する登山者の認識も向上してきていますが、それでも、トイレの便器の中にカップ麺の容器を放り



込んだりするような心無い登山者が未だにいるのは嘆かわしい限りです。それらの行為を少しずつでも減らしていくためにはキャンペーン活動を続けていく必要性を痛感しました。

※ 最後に、一つうれしいニュースがあります。

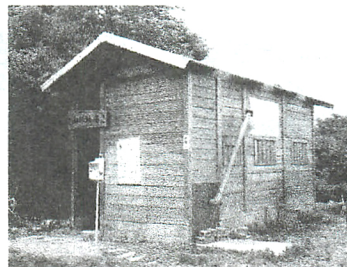
当日の活動で 2 名の方が入会されました。

◎意見交換会・福智山山開き

平成 21 年 4 月 4 日 (土) ~ 5 日 (日)

山開きの前日、当協議会メンバー 5 名で雨の中、福智山の 9 合目にある山小屋『荒宿荘』を訪ねた。この小屋は NPO 法人の「筑豊山の会」が建設、管理している。

すでに、バイオトイレを建設し、維持管理している「筑豊山の会」10 数名の会員と運営上の問題点、課題などリラックスした中で交歓しつつ、率直な意見交換ができ、今後の活動に役立てていきたいと思いました。「荒宿荘」は 1968 年北



アルプス・剣岳で遭難死した会員 2 名の遺志を受け、会員が自力で資材を担ぎ上げ、3 年 8 ヶ月後に完成させたものです。

小屋にとってトイレは長年の課題だったそうで特に女性からの設置の要望が強く、行政への許可申請や環境を考慮したトイレについても結論を出すまでには多くの時間を要し、最後に環境に優しいバイオトイレに行き着いたそうです。建設に当っては、重量が 180kg もあるトイレ本体は如何ともし難く、北九州市の好意により消防の大型ヘリの力を借りましたが、それ以外の殆どの建設資材は筑豊山の会会員と福智山をこよなく愛する登山者のボランティアにより担ぎ上げられたと聞き、驚くと共に、筑豊人の意志の強さを感じました。

2006 年 11 月、小屋に隣接してバイオトイレ「山ぼうし庵」が完成しました。

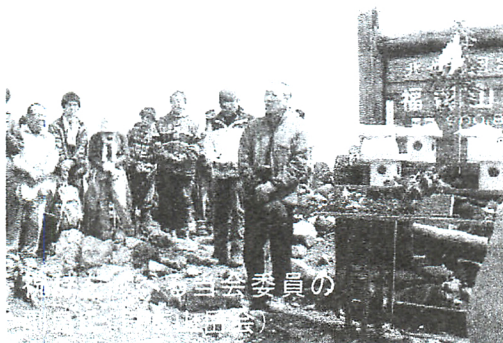
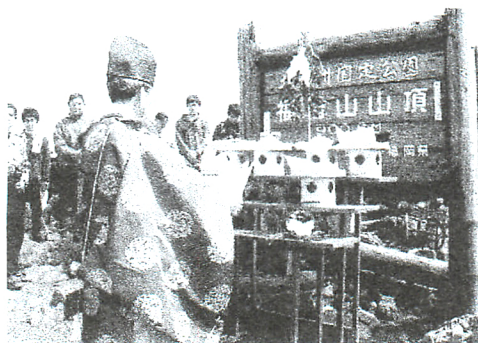
以後、維持管理のため、会員が交代で動力源である軽油を麓の林道から担ぎ上げているとのことでした。供用開始当初は窃盗など罪作りになるからと「利用無料」を頑なに守っていたのですが、費用の負担も大きく、現在はそれでも「一回 100 円」の募金箱が置かれています。

なお、意見交換の中で、英彦山のトイレ問題も議論され、大多数の参加者が設置が必要との意見でしたが、その必要性、場所など課題も多く、神社、英彦山霊山会、行政など関係者間での意見交換、意思の疎通が望まれます。

○山 開 き

4月5日（日）

午前11時、福智山山頂で約250名の関係者、登山者が見守る中、神職による安全祈願の祭事が執り行われました。協議会メンバーは小屋の前での登山者に配るための餅つきにも参加、山頂では会員募集のチラシを入れたマナー袋を登山者に配布しました。



◎ふるさとの山県民清掃ハイク

平成21年5月17日（日）

8時30分、竈門神社前の駐車場9名が集合し、小雨が降る中を正面登山道を目指して出発した。先発していた人、後から登って来た人を入れると12名になりました。

今回も前回同様、福岡県勤労者山岳連盟（労山）との共催であるが、清掃の山域は各山の会の自由選択である。当会は登山者が多いであろう宝満山に決めていました。

前日の天気予報は雨！恐らく登山者もすくないだろうし、キャンペーン活動の効果も期待できそうに無いので今回は中止し、清掃のみに勤しむ事にしました。

出発前の駐車場には「ピナクル山の会」の 20 名ほどが清掃の準備をしている以外、それらしいグループは居なかった。さすがに、悪天候で中止した山の会が多いのだろう。いつもは多数の登山者がすれ違う正面登山道も今日は静かだった。

トイレに使われそうな林の中を見て廻ったが、思っていたほどにはゴミやティッシュも無かった。それでも、奥の方にはそれらしい跡が数箇所散見された。



登山者のマナーもかなり良くなってきているように感じられるが、これからも時間をかけてキャンペーン活動を継続していく必要がある。車道を終点まで歩いてみたが、駐車できそうな数箇所の空き地の、丁度駐車した時の車の陰になるヤブの中などにはトイレの跡や、ティッシュ、電池、あめ、ガムの包み紙などが見受けられた。

3 時間ほどかけてキャンプセンターに着いたが登山者はまばらだった。

キャンプセンターには運営委員で、西鉄山友会の会長の伊藤氏、副会長の豊福氏が待っていてくれ、センター内でアツアツのダゴ汁やイタリアの料理なの？と思えるようなトマト料理などを用意して今日の労をねぎらっていただき、雨で冷えた身体には本当にありがたかった。



本日の成果、燃え



7kg 燃えないゴミ3kg

～運営委員会だより～

開催月日	議 題	開催場所
2/19	6/21 総会会場確認・記念講演会検討・3/29 宝満山周年祭参加提案・福智山山開き、意見交換会参加方法、参加者の検討・県民清掃ハイクへの案内を会員、会員外の方へ・「宝満山バイオトイレの現況」北海道の仲俣氏へ郵送	さざんびあ博多
3/19	総会の記念講演会検討・3/29 宝満山周年祭時バイオトイレの使用時マナーの運動・4/5 福智山山開き、意見交換会決定 5/17 県民清掃ハイクの山域、コース等決定・5 月末「山のトイレ協議会通信」第2号内容、発行決定・山の水質調査検討	さざんびあ博多
4/16	総会準備日程、議案書検討・宝満山周年祭報告・福智山山開き報告・県民清掃ハイク確認 水質調査予定	さざんびあ博多
5/20	総会議案検討・「山の協議会通信」だい2号発行について 5/17 ふるさとの山県民清掃ハイク報告	さざんびあ博多

◎ お知らせ

2009. 6/21 (日) 山のトイレ、環境を考える福岡協議会 総会
 7/26 (日) 宝満山山開き
 10/18 (日) ふるさとの山県民清掃ハイク
 11/ 3 (日) RKB宝満山登山会
 2010.3/28 (日) 宝満山周年祭
 5/16 (日) ふるさとの山清掃ハイク

編集後記

第1号の表紙の写真は雪の宝満山山頂の写真だったのですが、第2号は趣を変え花の写真にしました。4/29 平尾台でのオキナグサです。半分以上は花びらが散っていましたが都市の近郊でこれほどの群生地が残っていることに感動しました

山のトイレ協議会通信 第2号
発行日 2009年5月28日

山のトイレ、環境を考える福岡協議会
〒818-0115
太宰府市内山708番地
九州登山情報センター内
TEL 092(928)2729